

本気で学ぶ 丈夫で 心豊かな 本庄っ子



ほんじょう

令和8年度5月号
三田市立本庄小学校

HPにて日々の学習、学年・学校行事を伝える「今月のほんじょう」を掲載中 上のQRコードをご利用ください

授業参観・学年集会・育友会総会・引渡し訓練 ありがとうございました

「主体的に学ぶ」子どもたちの育成に向けて

先日の授業参観には、多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。今年初めての授業参観、いかがでしたか。子どもたちは、保護者の皆様に見守られ、少し緊張しながらも、いつも以上にはりきって頑張ったり、クラスの中で友だちと落ち着いて学びに向かったりする姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。

さて、育友会総会でも紹介いたしました。今、教育のあり方が大きく変わろうとしています。最近の教育をめぐるニュースなどで「論点整理」という言葉を耳にされたことがあるかもしれません。「論点整理」とは、これからの教育で大切にしたいことや、今後の学校の方向性について文科省で話し合われたことを分かりやすくまとめたものです。AIの急速な発展など、変化の激しいこれからの社会において、子どもたちには「与えられた知識を覚える」だけでなく、

「自ら課題を見つけ、多様な人々と協働して解決していく力」の大切さなどが示されています。本校でもこの方向性を見据えながら、教育活動にあたっ



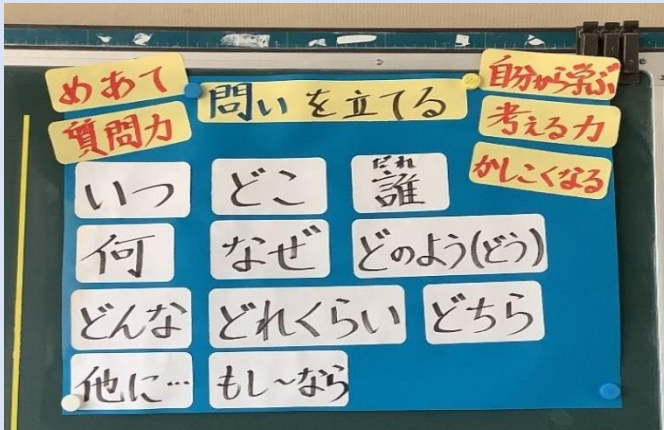
ていきたいと思えます。授業においても、子どもたちが自ら問いを持ち、友だちとお互いの考えを出し合いながら、よりよい考えを導き出したり、自分の意見と友だちの意見を比較しながら、自己の考えを深めたりする学びを充実させていくことが大切であると感じています。

「伴走者」としての先生

こうした子どもたちが主役となる学習にしていくためには、これからの先生は一方的に知識を教える存在から、子どもたちの学びを隣で支える「伴走者」へと役割をシフトしていく必要があります。子どもたちがつまづいたときには共に考え、新しい発見をしたときには共に喜び、失敗を恐れずに挑戦できるよう背中を押す。子どもたちの内面にある疑問や気づきを引き出していく、そんな伴走者としての先生の役割が大切になります。

子どもたちの学びを先生がしっかり受け止め、広げ、つなぎ、深めていく・・・子どもたちの発見や思いや気づきなどを大切にしたい授業を展開していきたいです。

主体的な学びに向けて



こどもたちの「問い」を大切にした授業の充実に向け、5・6年生では「問い」の立て方を意識して学習を進めています。漠然とした「疑問」を学習課題に高められるよう工夫して取り組んでいます。

3年生では、自分の考えを整理するために「思考ツール」の「ボーン図」を活用しました。魚の頭の部分に結論、骨の部分に根拠等を書きます。情報を図式化しながら、自分の考えを整理し、深めていきます。



読書タイム

読書タイムが始まると、学校中が静かになり、こどもたちは集中して読書に取り組んでいます。この一年でたくさんのお気に入りの本を増やしてほしいと思います。本を読むことに慣れてきたら、読み応えのある本にも挑戦してほしいです。

ウドの株分け (5・6年生)



JAの皆様、JA 青年部の皆様にご指導いただき、今年度もウドの栽培が始まりました。畑でしっかりとウドが育っていくように頑張ります。